

宇津木台 森遊会 実施報告

「第7回定例活動」

No.2020-07

実施日	2020年10月25(日) 10:00~12:00	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地 (八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 5名 (男性3、女性2) 野原、矢島、中村(弘)、井手、中野 インストラクター: 金森		

実施内容

活動10年目の第七回目。先月に引き続き竹林に入る。オオスズメバチはどうなっているだろうか。集合前に確認したところ蜂の気配はなく、どこかに引っ越したようだ。作業を開始する。

蜂だけではない、腐った竹の中にはムカデがいる、刺されると痛い。温暖化でダニやヌカカなども多くみられる。血を吸うので、とにかく肌を出さず、袖口などを絞ることが肝心。

竹林整備は古い竹およそ50本を完全に伐採する。新しい竹のうち、太くて密集しないものを残して伐採する。毎年、筍として全て駆除したいため、ここ8年は世代交代ができていなかった。コロナ渦の影響で今年は筍駆除をしなかったため交代ができた。本来は毎年5分の1ずつ交代できれば理想的。

精鋭スタッフが1.5時間作業して完全に綺麗になった。秋の雑木林を満喫しながら戻る。

来月は久々に秋の焼き物大会を約束して解散した。



緑地の入口はどんぐりだらけ



竹林に下りる



作業開始



古い竹を優先的に伐っていく



どんどん綺麗になっていく



伐った後の枝処理に時間がかかる



伐り過ぎた感はあるが新しい竹に入れかわった



このまま冬を越して春の筍シーズンを待つ



精鋭の5名



お疲れさまでした



竹林全体



秋風の中を行く



多摩川方面の眺め



帰りもどんぐりだらけ

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋大1個を指定の場所に置く。